



花宴

筆：山田 タカ子様（あやめ入居者）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 石黒 善治

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第33号 発行日：令和2年 8月 1日

山科積慶園との出会い 施設長に就任して



特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 いし ぐろ よし はる
石黒 善治

暑さ厳しい折、皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。この度、6月1日付けで山科積慶園施設長に就任いたしました石黒善治と申します。

施設長という大役を仰せつかり、その職責の重大さに身の引き締まる思いをしております。私は、以前、山科区役所に勤めておりましたので、この度の山科積慶園との出会い、山科とのお縁を大切にしたいと思い、微力ではありますが、全力を尽くしてまいりたいと考えております。

山科積慶園は、平成20年に開設され、以来、10有余年にわたり弛みない介護の実践を積み重ね、地域の厚い信頼を得てきております。このような実績を挙げることができたのも、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様のご理解、ご協力、ご支援と、職員の皆様の熱心で真摯な取組の賜であり、心から感謝申し上げます。

山科積慶園は、「笑顔・感動・感謝」をキーワードに、「挨拶と笑顔」、「敬意」、「自己研鑽」、「プロ意識」、「感謝と思いやりの気持ち」を行動指針としております。このことをすべての職員が認識し、実践できるようにするため、まず、人と人をつなぐ大切な要素である「ていねいな言葉遣い」を最優先に取組を進めたいと考えております。

高齢化社会の急速な進展に伴い、介護事業、介護施設の役割はますます重要になってきております。

ご利用者様が穏やかに過ごしていただき、また、誰もが利用したいと思っていただき、地域の更なる信頼を得られる施設づくりを職員とともに進めてまいりますので、これからも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止のため、ご家族様の面会の制限を続けております。そのほか感染を防ぐための様々な取組を行っております。まだしばらくは緊張の日々が続くと思いますが、皆様のご理解を賜りますよう、なにとぞお願い申し上げます。

《ぬい絵》

新型コロナウイルスが猛威をふるっている中、感染症対策でレクリエーションや行事ができなくなっております。そんな中、入居者様にも楽しんでいただけたらとの思いで、塗り絵レクリエーションを企画・実施しました。入居者様は各自、好きな色の色鉛筆を使い、色を塗っていきます。そしてご覧の通り、色鮮やかなすばらしい作品ができあがり、入居者様も大満足のご様子。もうしばらくは集まってのレクリエーションを行えない中ですが、各職員が何か出来ないかを考え、企画していきたいと思ひます。

ご家族様におかれましても、日々の生活に不自由や不安もあるかと思ひますが、くれぐれもご健康には留意され、また面会に来ていただけることをお願いいたします。（阪井）



《七夕》

今年は新型コロナウイルスの影響で、外出レクや面会も中止となり、外部との接触ができなくなりました。折紙で藤や紫陽花を作って、リビングに飾り、入居者様に季節を感じていただいています。七月といえば、七夕です。



今年も入居者様それぞれ願い事を短冊に書いて、笹に吊るしてもらいました。そんな中、物静かな入居者様に願い事を伺うと「普通で普通がいい」と、相田みつをさんの詩のような言葉が返ってきました。

今、新型コロナウイルスという怖い病気が流行っている中、日常生活において不自由に思う事はたくさんあると思いますが、この入居者様の言う通り、普通で居られることが本当の幸せなのかもしれません。（大屋）



《面会の様子》

現時点でも終息の見込みが立たない新型コロナウイルスの影響で、当園も面会制限のご協力を依頼する状況が続いております。当園では4月からタブレット端末を使った、LINEのテレビ電話による面会を開始しています。対面での会話ではないため、入居者様は通話相手のご家族であるとの認識がしづらかったり、少し音声が届きにくかったりなどのデメリットはありますが、遠方にお住まいの家族様であっても施設までお越しにならずにお話をさせていただくことができる点等、テレビ電話による面会のメリットを感じました。

(※施設内での面会は一時期、写真のように1階ロビーにて短時間の面会を可能としていましたが、現在は感染拡大防止により実施していません。今後、一部緩和が決まれば、随時ご連絡します。)

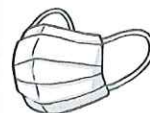


涙を流して再会を喜ばれたり、笑顔で面会の時間を過ごされたりする様子を見ると、面会できることが日常の当たり前の風景に戻ることを切に願ってやみません。(橘)



《お礼》

施設でのマスクや消毒液等、衛生用品が不足する中、ご家族様をはじめ、企業・団体様より多くのご寄付をいただいております。職員一同、心より感謝申し上げます。ご寄付いただきました物資は大切に使用させていただきます。



〜〜 医務室だより 〜

環境省と厚生労働省は、共同で「令和2年度の熱中症予防行動」を発表し、その中で、気温・湿度の高い中でのマスク着用は熱中症のリスクも高めるため、身体的距離が確保できる屋外などでは適時マスクを外すよう呼びかけています。

また、新型コロナウイルス対策で ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いなどの感染防止策や3密(密集、密接、密閉)を避ける行動などが求められており、マスク着用中は、暑い日や時間帯の行動、重作業や激しい運動は避け、無理のない範囲で活動するほか、涼しい服装や、日傘や帽子などの活用をしましょう。

のどが渇いていなくても普段より多めの水分補給を心がけ、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、適宜、マスクをはずして休憩しましょう。

適度な運動をして、暑さに負けない体づくりが大切です！



デイサービスセンター ぬくもり 4ヶ月の行事

《壁面製作》

毎月季節感が感じられるようにデイの壁面を季節の花や行事で飾りつけています。

鯉のぼり

画用紙をクルッと丸めて、ウロコに見立てたフェルトを貼り付け、目を付ければ完成です。工程が簡単なので利用者様も殆どの方が自分で作れ、簡単な割に可愛いものが出来上がりました。可愛くて職員も作って持ち帰りました。



あじさいとかたつむり

おはな紙でボリュームたっぷりのあじさいを沢山つくりました。おはな紙を折り畳んで真ん中でくくり、一枚一枚丁寧に広げていくときれいな

あじさいができていきます。廊下の壁面に、かたつむりと一緒に飾っていると、特養の職員さんから作って欲しいとリクエストがあり、追加で作りました。



七夕

笹の葉のイラストを沢山印刷して、緑色のガムテープでかたどった竹に貼っていきました。本物みたいと、とても好評で、利用者様は思い

思いの願い事を短冊に書き、飾りました。織姫様と彦星様も喜んでくれているようでした。



《歩行練習》

平行棒を使つてのリハビリです。靴を脱いで



人工芝の上を歩きます。人工芝の下には足つぼマッサージや竹踏みを仕込んで足の裏を刺激します。意外と気持ちいい感触で、利用者様からも好評です。

《ストラップ作り》

夏は毎年、うちわや行灯を作って持ち帰っていただいています。今年はストラップを作りました。ストローにちりめんなどの生地を巻きつけ、ビーズと交互にテグスに通して出来上がりです。可愛いのが出来たと、利用者様は大変喜んでいました。



新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が4月に発令され、以降の外出の予定は全て中止となりました。お花見ドライブも1日のみの開催で残念。(とても美しい桜を見ることができました。)利用者様との距離を取る事や利用者様同士のおしゃべりをどうしていただくか?手探りで、少し戸惑いもありましたが、距離を取りながら出来るレクリエーションを考えたり、手袋をはめて参加して頂いたり、工夫を重ねています。外出ができる様になったら、またみんなでワイワイ出かけたいと思っています。(杉山)

編集後記

施設の花壇に蒔いたひまわりの種が芽を出し、こんなにも大きくなりました。例年になく長雨と集中的な豪雨にも負けず、力強く成長しているのだと、感心させられます。明るい話題が少ない中、ひまわりが少しずつ成長していくのを見ていると少し心が和みます。元気いっぱいの希望に満ちあふれた花を咲かせてほしいと思います。(林)

